

令和3年度

一般入学試験(前期①)問題

国語

(薬学部・看護学部・健康医療科学部・心理学部・国際看護学部)

注意事項

1. 問題冊子は、試験監督者の指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題冊子と解答用紙(マークシート)は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に下記①～④の記入欄があるので、監督者の指示に従ってそれぞれ正しく記入し、マークしなさい。

- ① 氏名欄 氏名およびフリガナを記入しなさい。
- ② 受験番号欄 受験番号(数字および英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
- ③ 試験種別欄 【一般前期1日目】にマークしなさい。
- ④ 教科・科目欄 【国語】にマークしなさい。

4. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。
例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の[例]のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

[例]

解答 番号	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

5. 試験時間は、60分です。

I

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

とやましげひこ
 (外山滋比古『日本語の個性』『中間話法』による。設問の都合上、本文の一部を改めた。)

(注) 1 くさしたい：おとしめたい。「腐す^{くさ}」は、悪意をもって他を悪く言うこと。

2 何とかのサヤ当て：恋のサヤ当て。一人の女性をめぐって二人の男性が争うこと。

3 三太夫：大名・華族・富豪の家で主事の役をし、会計や応対などを受け持った人。執事。

問1 点線部 a～e の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

a

1 タクセン

- ① センスに描かれた草花
- ② 議長にスイセンする
- ③ 開会センゲン
- ④ センイ性の物質

b

2 バクロ

- ① ロトウに迷う
- ② 真情をトロする
- ③ ワイロを握らせる
- ④ ロバタ焼き

c

3 シュクジヨ

- ① 卒業をシュクフクする
- ② セイシュクに願います
- ③ シュクシヤク千分の一
- ④ テイシュクな妻

d

4 ケイシヤ

- ① 経済発展にハクシヤを掛ける
- ② 海沿いの古びたエキシヤ
- ③ シヤヨウ産業
- ④ シキシヤの判断を仰ぐ

e

5 チンモク

- ① 思索にチンセンする
- ② 山海のチンミ
- ③ 関係官庁にチンジヨウする
- ④ 法曹界のジュウチン

問2 空欄 **ア** **オ** に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **6**

- | | | | | | |
|---|------------|-----------|---------------------|---------|------------|
| ① | ア このように | イ なんととしても | ウ 何 ^{なん} て | エ だから | オ どちらかといえは |
| ② | ア このようなわけで | イ なんだか | ウ 何で | エ それゆえに | オ どちらも |
| ③ | ア こうして | イ どうも | ウ 何と | エ したがって | オ あるいは |
| ④ | ア こうやって | イ どう考えても | ウ 何とか | エ よって | オ もしくは |

問3 空欄 **A** に当てはまる一文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **7**

- ① 告げ口しようなんて気持は、これっぽっちもなかったのに
- ② 口がすべっただけだから、とやかく言われる筋合はない
- ③ そりゃそうだ、悪いのはすべて自分だということは認めよう
- ④ 伝わって悪いことなら初めから言わなければいい

問4 傍線部 **B** 「これを笑って聞き流すようなら甲野君はすでに大人物だ」とあるが、なぜそう言えるのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **8**

- ① 自分に対する非難は内心不快には思うものの、あえてそれを口に出さないから。
- ② 自分に対する非難は自分に対する誉^ほめことばに比べれば取るに足りないものだから。
- ③ 自分に対する非難をあえて意に介さず、何を言われようと超然としているから。
- ④ 自分に対する非難をむしろ逆手にとり、誉めことばであると思いついでいるから。

問5 傍線部C「ブーメラン式伝達」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 自分が口にした噂や陰口は、めぐりめぐって当初のものとはまったく違う、すばらしい意味に変わってしまうこと。
- ② 自分が口にした噂や陰口は、めぐりめぐってとんでもない意味に変わって、ひどい目にあう場合になること。
- ③ 自分が口にした噂や陰口は、さまざまな人の口へのぼることによって、言われた側からの恨みを買うこともあること。
- ④ 自分が口にした噂や陰口は、さまざまな人の口へのぼることによって、初めて不変のものとして定着するということ。

問6 傍線部D「よそ行きの着物を着せられた表現」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 日本語は話しことばと書きことばが甚だしく違っているため、聴覚による誤解を避けようとして、音読みのことばはなるべく用いないこと。
- ② たとえばアメリカにおける放送のような直接話法だと、日本語特有の間まや情緒などは十分に表現できないため、和語をできるだけ用いようとする。
- ③ たとえばアメリカにおける直接話法ではなく、間接話法のやり方を選択し、それをさらに自分のことばに翻訳するような形で伝達しようとする。
- ④ 話しことばによるむきだしの伝達は往々にして受け手の心に不快な思いや衝撃を与えることが多いため、あえて曖昧あいまいなもの言いも辞さないこと。

問7 傍線部E「腹芸のごときもの」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 自分が思う通りのことを、相手の感情を無視してそのまま言うわけにはいかず、人間関係上の妨げとはならないよう配慮し続けることばによる表現や行為は後退するしかないこと。
- ② 自分が思う通りのことをずけずけ言うのは、日本人としての常識からはずれていることを認識し、仮に遠回りなやり方ではあるにせよ、何はともあれ謙譲の精神を忘れないということ。
- ③ ひとり対ひとりという直接的な関係は、日本では古くから成立せず、両者の間には常に第三者がはいることによって互いの意思の疎通が可能であるという構図にのっとっていること。
- ④ ひとり対ひとりという直接的な関係は、両者の理解の行き違いや衝突をつい招きがちであるため、その間に価値観の違う第三者をしるび込ませることで互いのバランスが図れること。

問8 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① 相手の言ったことばをそっくりそのまま伝達するのは、その相手に対して配慮が足りない。
- ② 口が堅いというのは重要なモラルであり、それがわかっていないから面倒を招くことになる。
- ③ 「もの言えは唇寒し」とも言われるくらいだから、めったなことは言わない方が得策だ。
- ④ めったなことは言わない方がいいという配慮の結果、相手の考えはよりわからなくなった。

II

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

かんのひとし
(菅野 仁 『友だち幻想』 第3章 「共同性の幻想」 による。設問の都合上、本文の一部を改めた。)

問1 点線部ア～ウの語句の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

ア 長いものには巻かれる

- ① 力のあるものにはかなわないなら、最後は妥協した方がよい
- ② 力のあるものにはかなわないから、黙って言うことを聞いておけ
- ③ 力のあるものにはかなうこともあるから、全力を尽くすべきだ
- ④ 力のあるものにはかなうはずもなく、全力を尽くしても無意味だ

イ 見えてくる

- ① 目でじかに知覚できるような
- ② それなりの雰囲気を感じとれる
- ③ 気付かないでいたものに気付く
- ④ ものの輪郭が徐に現れるような

ウ 好むと好まざるとにかかわらず

- ① すすんで選択するにせよ、いやいや選択するにせよ
- ② ときにはすすんで、ときにはいやいや選択するにせよ
- ③ すすんで選択するにせよ、しないにせよ
- ④ いやいや選択するにせよ、しないにせよ

問2 空欄 a ～ e に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- | | | | |
|----|----|-----------------------|----|
| ④ | ③ | ② | ① |
| a | a | a | a |
| 制度 | 制定 | 統制 | 規制 |
| b | b | b | b |
| 良心 | 誠実 | 欺瞞 <small>ぎまん</small> | 打算 |
| c | c | c | c |
| 従来 | 古来 | 元来 | 本来 |
| d | d | d | d |
| 拡散 | 拡充 | 拡張 | 拡大 |
| e | e | e | e |
| 可能 | 可否 | 不可 | 不能 |

問3 次の段落は、本文中の【Ⅰ】～【Ⅳ】の、いずれかの後に続くものである。挿入する箇所として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

17

だつて、私たちが着ているジャケットはお隣の国、中国の名も知らない誰かが縫製したものかもしれませんし、今飲んだコーヒーの豆は地球の裏側のブラジルからいろいろな手を介して運ばれてきたものかもしれません。

- ① 【Ⅰ】の後 ② 【Ⅱ】の後 ③ 【Ⅲ】の後 ④ 【Ⅳ】の後

問4 傍線部A「現代におけるネオ共同性」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 近代化が十分果たされたにもかかわらず、かつてのムラ的共同性ももっていた直接的な拘束力から切り離されてはいないこと。
② 近代以前の伝統的共同性から解放されて、都市的な自由や個性の自由を獲得し、欲望の実現にひたすら突き進むことができること。
③ 自らの行動の基準を他者との同調性に求めるため、他者と同じでなければならぬという同調圧力のもとに置かれざるをえないこと。
④ 他者とのつながりの緊密化をめざすため、共時的にかつ同一の行動を優先し、行動の理由づけについては前面に出さないこと。

問5 傍線部B「同調圧力のような形でお互いに消耗しあうことが、なるべく無いような友だちの作り方」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① 自らの能力や欲望の実現が認められてもいいはずなのに、依然として同調圧力のもとに置かれているこの苦しい状況を、むしろ異なるものが同時に存在するものとして捉えること。
- ② 自らの能力や欲望の実現が認められることが第一だと認識し、依然として同調圧力のもとに置かれているこの苦しい状況から、積極的に抜け出す方法や手段を図ること。
- ③ 自らの能力や欲望の実現をめざして、陰に陽に働きかけてくる同調圧力を、あるときは巧妙に利用したりあるときは黙殺したりして臨機応変に対応しようとする事。
- ④ 現代の組織的な集団において多種多様な他者が存在するのは当たり前のことであって、その対応をそれぞれの他者に合わせることでこそ、自らの能力や欲望の実現を図れること。

問6 傍線部C「こうした共同性の二重の成り立ち」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

20

- ① 貨幣や物を媒介し、世界レベルで他者たちの活動へ依存し、その関係性が間接的なものから直接的なものへと変質したもの。
- ② 貨幣や物を媒介し、世界レベルで他者たちの活動へ依存し、その関係性が具象的なものから抽象的なものへと変質したもの。
- ③ 現代社会における人間の共同性は、同質性を重視しながらも、一方では直接的・具象的な性質を帯びて広がっていること。
- ④ 現代社会における人間の共同性は、同質性を重視しながらも、一方では間接的・媒介的な性質を帯びて広がっていること。

問7 本文の内容に合致しないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① かつてのムラの社会は同質性をとりわけ重視する同調圧力の強いものであったが、それは共同的なあり方なしには共同体が維持できなかつたからでもある。
- ② 人間は「人の間」と表記されるほどもともと共同的本質を保有しているから、時代や思潮の変遷にかかわらず、その拘束力から逃れうる者はひとりもない。
- ③ グローバル化が進行する現代社会において、現代人は、それぞれの能力や欲望の実現をめざしながら同調圧力に置かれるという状況に直面している。
- ④ 自分の周囲にいる他者がすべて同じであるはずがなく、むしろ異質な考えや感受性をもつ他者と同じ場で過ごす時間の多さをまずは受け入れるべきだ。

Ⅲ

次の文章は一九七一年に書かれたものである。これを読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができません。

(幸田文『季節のかたみ』「壁つち」による。設問の都合上、本文の一部を改めた。)

(注)

- 1 凍上こらじょう：地中の水分が凍って、地面がもりあげられる現象。
- 2 苧ちり：壁の亀裂を防ぐために、壁土に混ぜ込む藁屑わらくずや糸屑など。

問1 点線部ア～エのそれぞれの意味や文法的説明において、誤りを含んでいるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

① ア「死なすの殺すのとは」に用いられている二つの「の」は、あれこれ並べ上げる場合に用いる助詞であり、「死なせるとか殺すとかいう言い方は」という意味である。

② イ「それはさておき」は、横道にそれた話を本筋にもどすための表現で、意味は「むだな話はさておいて」であって、接続詞「さて」のように用いられる。

③ ウ「鼻のもげそうな悪臭」に用いられている助動詞「そうな」は、伝聞を表しており、実作業を見ていない筆者には「鼻がちぎれるとかいう悪臭」であることをいつている。

④ エ「なんでもかでも」は、全体が連用修飾語として機能しており、取捨選択を一切行わずに、該当する可能性のあるものはすべてを対象とすることを表している。

問2

空欄

a

e

に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------|---|--------|---|--------|---|------|---|------|
| ① | a | ぐちやぐちや | b | ぬめぬめする | c | そわそわして | d | たんたん | e | ときたま |
| ② | a | くちやくちや | b | ぬらぬらする | c | さらさらして | d | だんだん | e | たまたま |
| ③ | a | くしゃくしゃ | b | ぬるぬるする | c | ざらざらして | d | えんえん | e | たまさか |
| ④ | a | ぐしやぐしや | b | ぬれぬれする | c | ぞわぞわして | d | いんいん | e | たまゆら |

問3 傍線部A「ただ使っている言葉ではなくて、激しいいかたに釣合うだけのもの」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① ものを腐らせるときにあえて「死なせる、殺す」と表現するのは、土本来のもっている性質を、職人の意志や力を加えることによって死なせることを意味しており、そこには作業内容において何事も支配しようとする職業上の強権ぶりが明らかに見てとれること。
- ② ものを腐らせるときにあえて「死なせる、殺す」と表現するのは、ごく限られた仲間うちだけに通用するものの言い方をしているに過ぎず、実際は「寝かす、腐らせる」などの波立つことのない言い方と同じであって、その違和感から抜け出すに容易であること。
- ③ ものを腐らせるときには「寝かす、腐らせる」などの穏やかな言葉が使えるにもかかわらず、壁土として大いに役立たせるために、固まるという土本来のもっている性質を「死なせる、殺す」とあえて荒らげて表現するのは、理解不能な職人氣質を示していること。
- ④ ものを腐らせるときには「寝かす、腐らせる」などのとげ立たない言葉も使えるにもかかわらず、壁土としての有用性をひき出すために、土本来のもっている性質を「死なせる、殺す」とあえて表現するのは、いかにも職人の使う正鵠を得たものせいこくの言い方であること。

問4 傍線部B「とてもとても、けぶりにもおかしいなんてものじゃない」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうち

から一つ選べ。

25

- ① 壁土をもれなく腐らせるために人の足で踏みこねるのは、部外者には臭くてどうしてもできないことだが、子供のどろんこ遊びと同じ次元の楽しさがあるということ。
- ② 壁土をもれなく腐らせるために人の足で踏みこねるのは、子供のどろんこ遊びを連想させて面白そうだが、実際はその臭さが我慢できないほどたいへんな作業であるということ。
- ③ 壁土をもれなく腐らせるために人の足で踏みこねるのは、まともとはいえない奇異な感じを抱かせ、大のおとなが見戯にも等しい作業をよくやれるものだとあきれてしまうこと。
- ④ 壁土をもれなく腐らせるために人の足で踏みこねるのは、子供のどろんこ遊びと同じように面白そうだという思い込みゆえに、実際は劣悪な作業であることを隠蔽いんぺいしてしまうこと。

問5 傍線部C「言葉と事柄にズレがないのが心にしみた」とあるが、そのときの筆者の心情の説明として最も適当なものを、次の①～④の

うちから一つ選べ。

26

- ① その職業に携わっている人たちに流通する言葉の使い方が、実作業を見たことのない者には、あるときには違和感を抱かせたり、あるときにはうなずかせたりする。
- ② その職業に携わっている人たちが共有する誇張的な言葉の使い方が、実作業を見たことのない者には、少なからず抵抗感を抱かせつつも、納得せざるをえないものがある。
- ③ その職業に携わっている人たちだけに通用する言葉の使い方は、日々の作業の特殊性にももの見事にならなっていて、部外者が理解するための呼び水になってくれる。
- ④ その職業に携わっている人たちの、耳にする限りは激しい言葉の使い方は、日々の作業の実際をありありと髣髴ほうふつさせ、部外者の心に深く感銘を与えるものである。

問6 空欄Dに当てはまる一文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- ① 癖を去って、新しく素直な性質に生れかわる、壁土あわれ、といたい
- ② 癖を去って、これまでの性質を捨て去る、壁土あつぱれ、といたい
- ③ 癖を抜かれて、これまでの強情を捨て去る、壁土がんばれ、といたい
- ④ 癖を抜かれて、新しい性質を身に帯びる、壁土ざまはない、といたい

問7 本文の表現や内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

① 一般の人ならばほとんど興味を示そうとはしないはずの、特殊な職業における、さらに特殊な出来事に拘泥することによって、自らが過ごした少女期に対する抑えようのない懐古と郷愁を描き出している。

② 一般の人ならば耳にしても興味を抱くはずもない、特殊な職業における、さらに特殊な出来事を詳述することによって、今はすでにない少女期の思い出を、限らない思慕をにじませて描き出している。

③ 自らの生活圏内にはなかった職人たちの世界に触れ、それに深くこだわ리ながら、伝統のもつ普遍性にまで至る文章の展開には、いかにも江戸っ子らしい気^ぶ風の良さと細やかな観察眼がうかがえる。

④ いまだに前近代的なおいを残す下町言葉を織りまぜながら、身近な職人たちの世界を自らの興味のおもむくままにたどり、今にも時代の闇に消えようとしている情緒的な気分や美意識にしがみついている。

